

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
21131	河川水路事務事業(一般会計)	下水道部	河川水路課	シートA	2
21131	治水等促進団体負担金事業	下水道部	河川水路課	シートB	3
21131	準用河川改修事業	下水道部	河川水路課	シートB	5
21131	河川水路事務事業(企業会計)	下水道部	河川水路課	シートA	7
21132	下水排水路等整備事業	下水道部	河川水路課	シートA	8
21132	雨水管渠等整備事業	下水道部	河川水路課	シートB	9
21133	がけ崩れ防災対策事業	下水道部	河川水路課	シートB	11
29999	河川等災害復旧事業	下水道部	河川水路課	シートB	13

令和2年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和2年度	評価対象年度	令和元年度
--------	-------	--------	-------

令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	河川水路課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6539				
	部長名	白石 邦彦	課等長名	白方 秀明	リーダー名	副主幹	山本 浩司	担当者名	主任	松田 理奈	主事	伊藤 良輔
令和元年度	部局等名	下水道部	課等名	河川水路課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6539				
	部長名	白石 邦彦	課等長名	白方 秀明	リーダー名	副主幹	山本 浩司	担当者名	主任	都築 美帆	主事	伊藤 良輔

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	21131	河川水路事務事業(一般会計)					事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営		
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】					笑顔プログラム	個別プログラム	-				
政策	災害等に強いまちをつくる						重点プロジェクト	-				
施策	防災対策等の推進						主な取り組み	-				
主な取り組み	浸水対策・がけ崩れ対策の推進					市長公約						
取り組みの柱	河川改修の推進											
総合戦略	基本目標	-					取り組み	-				
	政策	-						(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無				
	施策	-						-				
総合計画の実施計画掲載有無(R元)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R元)		2:無し							
根拠法令, 条例, 個別計画等												
事業の目的(どのような状態にするか)	生活環境保全のため市内全域にわたり、下水排水路の新設改良等や準用河川の改修等に従事する職員の庁費等を計上するもの。											
背景(どのような経緯で開始したか)	下水排水路等の整備にあたり、内部管理事務として開始											
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	河川水路課職員の業務遂行にあたり、必要な知識、技能の取得、向上を図るため各種研修会への参加や書籍の購入等を行う。愛媛県下の3市2町で構成する重信川・石手川治水同盟会の事務局として、国への要望活動などを行う。											
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない			「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由							
始期・終期(年度)	令和 4			終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期							

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	H30年度		R元年度		R元予算措置時期	
				土木費	河川費	河川総務費	R元	当初	
現計予算額(A) (単位:千円)				3,665		1,532		864	
決算額(B) (単位:千円)				566		1,380			
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳	国支出金			0		0		0	
	県支出金			0		0		0	
	市債			0		0		0	
	その他			325		499		594	
一般財源			241		881		270		
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算				旅費:598千円 賃金:532千円 需用費:121千円		旅費:701千円 需用費:146千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				流用による増あり					
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		3,099		152			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	四国地方治水大会(香川県)、四国河川協議会要望活動(東京都)などへの出席、参加										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など		研修受講や要望活動への参加が予定通り実施することができ、事業目的が達成できた。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	4:どちらもない		左記の理由			内部管理業務のため					
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし										
R2年度の目標	引き続き、河川水路課職員の業務遂行にあたり、必要な知識、技能の取得、向上を図るため各種研修会への参加や書籍の購入等や重信川・石手川治水同盟会の事務局として、国への要望活動などを行う。			R2年度の主な取り組み内容(予定含む)		四国地方治水大会(高知県)、河川管理研修(東京都)、四国河川協議会総会(香川県)、四国河川協議会要望活動(東京都)などへの出席、参加			特になし 特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組む改善策		

令和2年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和2年度	評価対象年度	令和元年度
--------	-------	--------	-------

令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	河川水路課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6539				
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	白方 秀明	リーダー名	副主幹	山本 浩司	担当者名	主任	松田 理奈	主事	伊藤 良輔
令和元年度	部局等名	下水道部	課等名	河川水路課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6539				
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	白方 秀明	リーダー名	副主幹	山本 浩司	担当者名	主任	都築 美帆	主事	伊藤 良輔

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	21131	治水等促進団体負担金事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	災害等に強いまちをつくる			重点プロジェクト	-	
施策	防災対策等の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	浸水対策・がけ崩れ対策の推進		市長公約			
取り組みの柱	河川改修の推進					
総合戦略	5411	基本目標 ③暮らしと経済を守る(暮らしと経済まちづくり) 政策 ④近隣地域との連携による経済・生活圏の形成 施策 ①連携中枢都市圏の構築	取組み	①松山圏域(松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町及び砥部町)が連携し、地域特色を生かした魅力ある都市圏域を形成することで、圏域の人口減少に歯止めをかけ、将来に向けて持続可能な地域社会の構築を目指します。		(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無 1:有り
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R元)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等						
事業の目的(どのような状態にするか)	当課が所管する、河川や海岸に関する情報共有や知識の向上を図るための、全国組織(日本河川協会及び全国海岸協会)の会費や四国及び周辺市町で構成する治水事業の促進を目的とした協議会など(重信川・石手川治水同盟会、四国河川協議会)へ負担金を納付する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	日本河川協会及び全国海岸協会は情報共有や知識の向上を図る目的で加入 重信川・石手川治水同盟会、四国河川協議会は関係市町村で設置、本市は設置当初から加入					
対象・事業内容(誰に対して、何をとするのか)	日本河川協会、全国海岸協会、重信川・石手川治水同盟会、四国河川協議会からの会費や負担金請求に基づき納付。なお、松山市長が、四国河川協議会では副会長、重信川・石手川治水同盟会では会長を務めており、主体的に両会の活動を進めている。 ○日本河川協会:安全かつ快適で自然豊かな河川を実施するための活動を行う。 ○全国海岸協会:海岸に関する知識の普及、海岸事業の推進を図るための活動を行う。 ○重信川・石手川治水同盟会:国直轄河川である重信川・石手川にかかる治水事業を促進するための活動を行い、流域住民等を水害の被害から未然に防止する。 ○四国河川協議会:四国の二級河川、準用河川にかかる治水事業を促進するため活動を行うことにより、市内の河川整備等が促進され、流域住民等を水害被害を軽減する。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	~ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	H30年度		R元年度		R2年度	
				目	河川総務費	R元	予算措置時期	当初	
現計予算額(A)(単位:千円)				846	846	846		846	
決算額(B)(単位:千円)				120	846	846			
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳			国支出金	0	0	0		0	
			県支出金	0	0	0		0	
			市債	0	0	0		0	
			その他	0	0	0		0	
			一般財源	120	846	846		846	
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算					負担金補助及び交付金:846千円		負担金補助及び交付金:846千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)	726	0				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	日本河川協会会費、全国海岸協会会費、重信川・石手川治水同盟会、四国河川協議会負担金を納付した。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	河川水路課職員の知識向上や他都市との交流による情報共有を図ることが出来た。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	間接的ではあるが、河川水路課職員の知識向上や他都市との交流による情報共有を図ることができ、治水対策等の推進に寄与できたと考えているため			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R2年度の目標	引き続き、各組織への参画により、河川や海岸に関する情報共有や知識の向上に努める。		R2年度の主な取り組み内容(予定含む)	日本河川協会会費、全国海岸協会会費、重信川・石手川治水同盟会負担、四国河川協議会負担金を納付する。		特になし

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	要望参加回数	回	目標値	2	2	2	2	2	目標値	2	
			実績値	2	2	2	2	2	達成年度	—	
			% 達成度	100	100	100					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	本市単独で要望するより、四国治水期成同盟連合会など関係する団体等と協力し、積極的に要望していくことが重要であり、当該団体での要望活動回数が年度2回(夏・秋)となっているため。			
	本指標の設定理由	恒常的に国等へ要望を実施する必要があるため。									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
			% 達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
		目標値							目標値		
		実績値							達成年度		
		% 達成度									
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	関係団体と協調し、計画どおりに年度2回の要望活動に参加している。									
	成果指標										
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	河川水路課	担当グループ名	河川・水路・がけ担当	連絡先	948-6838			
	部長名	白石 邦彦	課等長名	白方 秀明	リーダー名	主幹	担当者名	副主幹	田井 理仁	主任	奥野 真治
令和元年度	部局等名	下水道部	課等名	河川水路課	担当グループ名	河川・水路・がけ担当	連絡先	948-6838			
	部長名	白石 邦彦	課等長名	白方 秀明	リーダー名	主幹	担当者名	副主幹	田井 理仁	技師	奥野 真治

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	21131	準用河川改修事業	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	災害等に強いまちをつくる			重点プロジェクト	-	
施策	防災対策等の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	浸水対策・がけ崩れ対策の推進		市長公約			
取り組みの柱	河川改修の推進					
総合戦略	基本目標	-	取組み	-		(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R元)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	河川法第100条					
事業の目的(どのような状態にするか)	準用河川改修事業計画に基づく浸水被害の解消を目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	洪水による災害発生の防止を行うことにより、流域住民の生命と財産を守る。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	①洗地川の占用物件について、工損調査及び工事図面電子化業務の委託を実施。 ②光正寺川(平井町)の土木工事を実施。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	昭和 61	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	H30年度		R元年度		R2年度	
				土木費	河川費	河川改修費	R元	予算措置時期	当初
現計予算額(A)(単位:千円)				25,224		20,844		17,038	
決算額(B)(単位:千円)				9,959		9,897			
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳	国支出金			0		0		0	
	県支出金			0		0		0	
	市債			0		0		0	
	その他			0		0		0	
			一般財源	9,959		9,897		17,038	
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算					委託料:1,006千円 工事請負費:5,428千円 補償補填及び賠償金:3,121千円		委託料:3,500千円 工事請負費:13,192千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等					予算額のうち14,098千円は前年度繰越分 決算額のうち6,947千円は前年度繰越分		予算額のうち3,792千円は前年度繰越分		
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		15,265		10,947			

*決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・洗地川の占用物件(人道橋)の点検業務委託 ・光正寺川(平井町)の管理道舗装工事					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	・管理道舗装により、越水時の堤上面の浸食を防止できた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	越水時の堤上面の浸食から、堤体を保護する効果を持つため			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	・三反地川の越水対策としての河口部港湾区域の防潮水門の管理に関する愛媛県との協議 ・県道辰巳伊予和気停車場線改築工事に伴う太山寺川の未改修区間の工事実施					
R2年度の目標	・傍示川の2箇所の測量設計業務完成を目指す。 ・光正寺川、洗地川、久保田川での各工事の完成を目指す。		R2年度の主な取り組み内容(予定含む)	・傍示川の2箇所の堰改修に伴う測量設計業務委託 ・光正寺川の管理道舗装工事 ・洗地川の松山市管理道舗装工事 ・久保田川の護岸嵩上げ工事		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組む改善策 ・三反地川最下流の防潮水門の管理に関する愛媛県との協議の継続による方向性の決定 ・太山寺川の未改修区間の隣接地権者への事業説明による実施の方向性の決定

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	光正寺川管理道 整備延長	m	目標値	55	135	135	130	-	目標値	455	
			実績値	55	135	125			達成年度	R2年度	
			% 達成度	100	100	93					
	指標の種類	3:累計での増加を目指す指標					最終目標値の 設定の考え方	光正寺川の河川管理道のうち、未舗装部分を舗装することにより、 整備が進むため。			
	本指標の設定理由	光正寺川の河川管理道の整備延長を表す指標であるため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の 設定の考え方				
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類						最終目標値の 設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
	指標の種類						最終目標値の 設定の考え方				
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の 設定の考え方				
	本指標の設定理由										
	上記指標の実績に対 する評価(達成又は未 達成要因の分析)	活動指標	当該工事について他事業との調整に不測の日数を要し、年度内に終了しなかったため、整備延長が減となった。								
		成果指標									
上記の指標以外に、指標では表すことができな い定性的な成果がある場合、その内容											

令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	河川水路課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6539				
	部長名	白石 邦彦	課等長名	白方 秀明	リーダー名	副主幹	山本 浩司	担当者名	主任	松田 理奈	主事	伊藤 良輔
令和元年度	部局等名	下水道部	課等名	河川水路課	担当グループ名	総務担当	連絡先	948-6539				
	部長名	白石 邦彦	課等長名	白方 秀明	リーダー名	副主幹	山本 浩司	担当者名	主任	都築 美帆	主事	伊藤 良輔

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	21131	河川水路事務事業(企業会計)					事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金	
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】					笑顔プログラム	個別プログラム				
政策	災害等に強いまちをつくる						重点プロジェクト				
施策	防災対策等の推進						主な取り組み				
主な取り組み	浸水対策・がけ崩れ対策の推進					市長公約					
取り組みの柱	河川改修の推進										
総合戦略	基本目標					取組み				(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	
	政策										
	施策										
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R元)			2:無し						

根拠法令, 条例, 個別計画等										
事業の目的(どのような状態にするか)	浸水対策を担う職員の専門知識や技術の向上を図り、第一線で活躍できる人材を育成する。									
背景(どのような経緯で開始したか)	浸水対策の実施にあたり、内部管理事務として開始									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	河川水路課職員(浸水対策担当)が河川水路課の浸水対策にかかる業務遂行にあたり、必要な知識、技能の取得、向上を図るため各種研修会への参加を行う。									
受益者負担の状況	負担の有無			「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由						
始期・終期(年度)	～ 令和 4			終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期					

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	公共下水道会計	款	項	目	総係費	R元予算措置時期	
							H30年度	R2年度
現計予算額(A) (単位:千円)						338	488	3,526
決算額(B) (単位:千円)						321	379	
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳	国支出金					0	0	0
	県支出金					0	0	0
	市債					0	0	0
	その他					0	0	0
	一般財源					321	379	3,526
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算						旅費:205千円 負担金:174千円	印刷製本費:3,000千円 旅費:359千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								
予算執行残額(単位:千円)	(A)-(B)					17	109	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	下水道事業団主催の研修への参加									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		研修受講により、担当職員の知識、技能の向上を図ることが出来た。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	4:どちらもいえない		左記の理由		内部管理業務のため					
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし									
R2年度の目標	引き続き、河川水路課の浸水対策にかかる業務遂行にあたり、必要な知識、技能の取得、向上を図るため各種研修会への参加を行う。			R2年度の主な取り組み内容(予定含む)		下水道事業団主催の研修への参加 内水ハザードマップの増刷		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組む改善策		

令和2年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和2年度	評価対象年度	令和元年度
--------	-------	--------	-------

令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	河川水路課	担当グループ名	河川・水路・がけ担当	連絡先	948-6521			
	部長名	白石 邦彦	課等長名	白方 秀明	リーダー名	主幹	担当者名	副主幹	河野 雅憲	主任	門田 慶史
令和元年度	部局等名	下水道部	課等名	河川水路課	担当グループ名	河川・水路・がけ担当	連絡先	948-6521			
	部長名	白石 邦彦	課等長名	白方 秀明	リーダー名	主幹	担当者名	副主幹	河野 雅憲	主任	澤田 義之

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	21132	下水排水路等整備事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】				笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	災害等に強いまちをつくる					重点プロジェクト	-			
施策	防災対策等の推進					主な取り組み	-			
主な取り組み	浸水対策・がけ崩れ対策の推進				市長公約					
取り組みの柱	浸水対策の推進									
総合戦略	基本目標	-				取り組み	-			(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無
	政策	-					-			
	施策	-					-			
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R元)		2:無し						
根拠法令, 条例, 個別計画等										
事業の目的(どのような状態にするか)	松山市内にある法定外水路の老朽化及び断面不足による排水不良や浸水被害を解消するため、緊急度の高い場所から改良整備を行い、生活環境及び環境の改善を図る。									
背景(どのような経緯で開始したか)	下水道未整備の在来水路は、宅地化に伴い生活雑排水等が排水され、環境衛生上放置できない現状となっており、田畑等の改廃に伴う遊水地の激減や断面不足等による排水不良により、降雨時に浸水をきたし、市民生活に大きな影響を与えているため。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	松山市内にある法定外水路に対して水路の管理者である地元土地改良区や水利組合からの申請を受けて予算の範囲内で緊急度の高い箇所から順次整備を行っている。									
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由		不特定多数の方が利用する公共物のため					
始期・終期(年度)	~ 令和 4		終期の種別		2:事業の継続・終了の検討時期					

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	土木費	項	河川費	目	下水排水路費	R元予算措置時期	当初	9月補正
				H30年度			R元年度		R2年度		
現計予算額(A) (単位:千円)				617,838			815,588		594,621		
決算額(B) (単位:千円)				394,283			415,301		-		
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳	国支出金		0		0		0		0		
	県支出金		0		0		0		0		
	市債		0		0		0		0		
	その他		1,055		1,269		0		0		
一般財源		393,228		414,032		594,621					
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算				工事請負費:351,621千円 委託料:16,212千円 補償費:7,806千円			工事請負費:538,305千円 委託料:49,685千円 補償費:6,078千円				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				予算額のうち214,888千円は前年度繰越分 9月補正で340,700千円追加 決算額のうち175,277千円は前年度繰越分			予算額のうち360,621千円は前年度繰越分				
予算執行残額(単位:千円)	(A)-(B)		223,555		400,287						

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	松山市内にある法定外水路の老朽化及び断面不足による排水不良や浸水被害を解消するため、緊急度の高い箇所から改良整備を行い、生活環境及び環境の改善を図る。令和元年度は森松町排水路改良工事ほか141件の工事を実施。										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		概ね予定通り実施できた。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		本事業の実施により、生活環境の向上や浸水被害の軽減に寄与しているため。						
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	過去に整備済み水路の経年劣化が進んでおり、今後改良のための費用増加が予想される。										
R2年度の目標	引き続き水路整備により、生活環境の向上や浸水被害の軽減に努める。			R2年度の主な取り組み内容(予定含む)		浄瑠璃町水路改良工事ほかの早期完成に取り組む。		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組む改善策		事業の緊急度や工法等を精査し、予算の範囲内で順次改良整備を実施する。	

令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	河川水路課	担当グループ名	浸水対策担当	連絡先	948-6957				
	部長名	白石 邦彦	課等長名	白方 秀明	リーダー名	主査	西本 義明	担当者名	主査	奥野 翔太	技師	松原 次郎
令和元年度	部局等名	下水道部	課等名	河川水路課	担当グループ名	浸水対策担当	連絡先	948-6957				
	部長名	白石 邦彦	課等長名	白方 秀明	リーダー名	主査	西本 義明	担当者名	主任	奥野 翔太	技師	松原 次郎

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	21132	雨水管渠等整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	311	個別プログラム	笑顔を守るプログラム
政策	災害等に強いまちをつくる				重点プロジェクト	みんなで守り助け合う「安心して暮らせるまちづくり」プロジェクト
施策	防災対策等の推進				主な取り組み	協働による防災活動等の推進
主な取り組み	浸水対策・がけ崩れ対策の推進		市長公約			
取り組みの柱	浸水対策の推進					
総合戦略	5224	基本目標 ①暮らしと経済を守る(暮らしと経済まちづくり) 政策 ②安心して健康な暮らしの確保 施策 ②安全・安心な暮らしの推進	取組み	④地震等が発生した場合にも下水道の機能を継続的に確保するため、平常時から机上型訓練を実施し、被災時に十分機能する体制を強化するとともに、施設の耐震化及び災害用トイレの設置を行います。また、大きな浸水被害等が想定される箇所に対し、重点的な対策を計画的に進めます。		(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R元)	2:無し		

根拠法令,条例,個別計画等	下水道法、都市計画法					
事業の目的(どのような状態にするか)	雨水管渠の整備により、浸水被害の軽減を図り、市民の安全・安心を確保する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	公共下水道処理区内の排水路は、宅地化に伴い遊休池が激減したうえに在来水路が不良のため、降雨時に浸水が生じ生活環境が悪化しているため。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	基本構想で定める9地区の浸水被害区域に対し、浸水被害を軽減するため、雨水管渠の整備を実施する。					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	平成 20 ~ 令和 8	終期の種別	1:事業の終了時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	公共下水道事業	款	資本的支出		建設改良費	目	管渠建設費	R元 予算措置時期		当初
				H30年度	R元年度				R元年度	R2年度	
現計予算額(A) (単位:千円)						541,329		1,004,199			1,427,264
決算額(B) (単位:千円)						216,019		342,087			
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳			国支出金			69,099		106,784			916,520
			県支出金			0		0			0
			市債			81,500		133,200			219,534
			その他			0		0			0
			一般財源			65,420		102,103			291,210
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算							委託料:64,338千円 工事請負費:261,244千円 補償費:15,536千円			委託料:156,509千円 工事請負費:1,187,687千円 補償費:82,133千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							予算額のうち311,768千円は前年度繰越分 決算額のうち309,148千円は前年度繰越分			予算額のうち659,429千円は前年度繰越分	
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			325,310		662,112			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	山西地区など6地区の雨水管渠整備										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		概ね計画通りの工事の進捗が図れた。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		計画通り雨水管渠の整備を進める事によって、浸水被害の軽減を図れている。						
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない				
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し										
R2年度の目標	雨水管渠を延伸し、浸水被害の軽減を図る。		R2年度の主な取り組み内容(予定含む)		和泉・古川地区:雨水幹線工事 空港通地区:実施設計業務委託 北条地区:支障物移設工事 山西地区:雨水幹線工事 東山地区:雨水幹線工事 南江戸地区:実施設計業務委託			特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組む改善策		特に無し	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	
活動指標 (3つまで設定可)	整備済地区数	地区	目標値	9	9	9	9	9	目標値	9
			実績値	1	3	3			達成年度	R8年度
			% 達成度	11.1	33.3	33.3				
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標						最終目標値の設定の考え方		浸水被害地区における整備地区の事業完了箇所を整備目標値とする。各地区並行して整備を進めるため、最終年度近くにならないと整備完了箇所数の達成とならない。
	本指標の設定理由	本事業の目的とする指標であるため								
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
			% 達成度							
	指標の種類							最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由									
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		% 達成度								
指標の種類							最終目標値の設定の考え方			
本指標の設定理由										
成果指標 (3つまで設定可)	浸水解消件数	件	目標値	214	214	214	214	214	目標値	214
			実績値	2	30	30			達成年度	R8年度
			% 達成度	0.9	14.0	14.0				
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標						最終目標値の設定の考え方		浸水地区の浸水被害解消件数を目標値とする。各地区並行して整備を進めるため、最終年度近くにならないと浸水被害解消件数の増加・達成とならない。
	本指標の設定理由	本事業の目的とする指標であるため								
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
			% 達成度							
	指標の種類							最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由									
			目標値						目標値	
			実績値						達成年度	
		% 達成度								
指標の種類							最終目標値の設定の考え方			
本指標の設定理由										
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	整備未完了の6地区を並行して整備を進めているため、最終年度近くにならないと整備完了箇所数の達成とならないが、それぞれの地区での整備は予定通りに進んでいる。								
	成果指標	整備未完了の6地区を並行して整備を進めているため、最終年度近くにならないと浸水被害解消件数の増加・達成とならないが、それぞれの地区での整備は予定通り進んでいる。								
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容										

令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	河川水路課	担当グループ名	河川・水路・がけ担当	連絡先	948-6521			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	白方 秀明	リーダー名	主幹	担当者名	副主任	河野 雅憲	主任	門田 慶史
令和元年度	部局等名	下水道部	課等名	河川水路課	担当グループ名	河川・水路・がけ担当	連絡先	948-6521			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	白方 秀明	リーダー名	主幹	担当者名	副主任	河野 雅憲	主任	澤田 義之

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	21133	がけ崩れ防災対策事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	災害等に強いまちをつくる			重点プロジェクト	-	
施策	防災対策等の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	浸水対策・がけ崩れ対策の推進		市長公約	431	元気な産業を応援し、成長する松山をつくります	
取り組みの柱	がけ崩れ対策の推進				西日本豪雨からの一刻も早い復旧をはじめ、担い手の確保や地域・大学と連携した有畜鳥対策など、松山の農業を守ります。また、ブランド商品の販路拡大、6次産業化の促進など、儲かる農林水産業を推進します。	
総合戦略	基本目標	-	取組み	-	-	(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R元)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	下水道法、都市計画法					
事業の目的(どのような状態にするか)	がけ崩れによる人家への被害を未然に防止し、地域住民の安全を確保する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	異常天然現象時に国庫補助の県営事業(急傾斜地崩壊対策事業)として不採択の箇所で崩落により重大な被害を受ける恐れがあるため。					
対象・事業内容(誰に対して、何をするのか)	国庫補助の県営事業(急傾斜地崩壊対策事業)として不採択で、高さ5m以上、傾斜角度30度以上、対象家屋1戸以上の自然がけについて、がけ崩れにより重大な被害を受ける恐れのある人家に居住している住民からの申請を受け、県費補助の範囲で防災対策を順次実施している。					
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等	「無し」の場合、その理由	事業費の5%	
始期・終期(年度)	令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	H30年度		R元年度		R2年度	
				土木費	項	河川費	目	砂防費	R元 予算措置時期
現計予算額(A)(単位:千円)					363,005			397,024	211,941
決算額(B)(単位:千円)					112,508			185,182	
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳	国支出金				0			0	0
	県支出金				60,122			110,812	105,245
	市債				29,900			46,900	61,300
	その他				5,482			13,489	3,650
	一般財源				17,004			13,981	41,746
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算						委託料17,246千円 工事請負費:166,587千円		委託料21,000千円 工事請負費:189,265千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						予算額のうち225,333千円は前年度繰越分 12月補正で109,500千円追加 決算額のうち150,923千円は前年度繰越分		予算額のうち123,665千円は前年度繰越分	
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)			250,497			211,842	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	上伊台町がけ崩れ防災対策工事後28箇所(繰越8箇所・緊急10箇所・当初6箇所・補正5箇所)					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	概ね予定通り実施できたが、人札不調が6件あり、不調分については令和2年度対応とした。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、地域住民の安全確保に寄与している。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R2年度の目標	引き続きがけ崩れによる被害の防止に努める。	R2年度の主な取り組み内容(予定含む)	がけ崩れ防災工事22箇所(事故繰越4箇所・繰越7箇所・未契約繰越2箇所・当初6箇所・補正3箇所)	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組み改善策	特になし	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	整備率	%	目標値	69	70	71	72	73	目標値	100	
			実績値	69	70	71			達成年度	R15年度	
			達成度	100	100	100					
	指標の種類	3:累計での増加を目指す指標						最終目標値の設定の考え方			
	本指標の設定理由	松山市内にある危険箇所594箇所の整備状況						計画している箇所数すべての整備を目指すため。			
			%	目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				達成度							
	指標の種類							最終目標値の設定の考え方			
	本指標の設定理由										
			%	目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
達成度											
指標の種類							最終目標値の設定の考え方				
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	整備箇所数	%	目標値	541	541	541	541	541	目標値	541	
			実績値	372	378	389			達成年度	R15年度	
			達成度	4.0	3.6	6.7					
	指標の種類	3:累計での増加を目指す指標						最終目標値の設定の考え方			
	本指標の設定理由	松山市内にある危険箇所594箇所の整備状況						急傾斜地崩壊危険箇所594箇所のうち県の補助によって松山市が対応する箇所の総数で設定。			
			%	目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				達成度							
	指標の種類							最終目標値の設定の考え方			
	本指標の設定理由										
			%	目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
達成度											
指標の種類							最終目標値の設定の考え方				
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	計画(年間約10件程度施工)に基づき、予定通りに整備が進んでいる。									
	成果指標	申請に基づき工事を実施。申請から遅くとも5年で予算化し、工事に着手している状況。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和2年度	部局等名	下水道部	課等名	河川水路課	担当グループ名	河川・水路・かけ担当	連絡先	948-6521			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	白方 秀明	リーダー名	主幹	担当者名	副主幹	河野 雅憲	主任	門田 慶史
令和元年度	部局等名	下水道部	課等名	河川水路課	担当グループ名	河川・水路・かけ担当	連絡先	948-6521			
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	白方 秀明	リーダー名	主幹	担当者名	副主幹	河野 雅憲	主任	澤田 義之

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	29999	河川等災害復旧事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】					笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	その他						重点プロジェクト	-	
施策	その他						主な取り組み	-	
主な取り組み	その他					市長公約	431	元気な産業を応援し、成長する松山をつくります	
取り組みの柱	その他							西日本豪雨からの一刻も早い復旧をはじめ、担い手の確保や地域・大学と連携した有畜鳥獣対策など、松山の農業を守ります。また、ブランド商品の販路拡大、6次産業化の促進など、儲かる農林水産業を推進します。	
総合戦略	基本目標	-				取組み	-	(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R元)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R元)		2:無し				

根拠法令, 条例, 個別計画等									
事業の目的(どのような状態にするか)	「平成30年7月豪雨災害」に伴う農地災害復旧に併せて水路の復旧工事を実施して適切な通水機能を確保し、浸水被害の拡大防止を図る。								
背景(どのような経緯で開始したか)	「平成30年7月豪雨災害」に伴う農地災害復旧に併せて水路の復旧工事を実施する。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	松山市内にある法定外水路に対して水路の管理者である地元土地改良区や水利組合からの申請を受けて予算の範囲内で緊急度の高い箇所から順次整備を行っている。								
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合, 基準や金額等「無し」の場合, その理由		不特定多数の方が利用する公共物のため				
始期・終期(年度)	~ 令和 2		終期の種別		1:事業の終了時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	項	目	R元	9月補正
				H30年度	R元年度	R2年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				348,476	173,584	133,854	
決算額(B)(単位:千円)				282,891	61,938		
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳	国支出金			12,380	1,520	0	
	県支出金			0	0	0	
	市債			261,400	44,500	112,500	
	その他			0	0	0	
	一般財源			9,111	15,918	21,354	
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算				委託料5,778千円 工事請負費:56,160千円		委託料38,000千円 工事請負費:95,854千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越, 補正, 流用, 事業統合等				予算額のうち65,584千円は前年度繰越分 9月補正で108,000千円追加 決算額のうち57,792千円は前年度繰越分		予算額のうち103,854千円は前年度繰越分	
予算執行残額(単位:千円)	(A)-(B)		65,585		111,646		

*決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	上怒和水路復旧工事外26箇所(繰越22箇所・補正5箇所)						
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点, 悪かった点など	概ね予定通り実施できた。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、生活環境の向上や浸水被害の軽減に寄与しているため。				
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R元年度終了までに把握している環境の変化, 障害, 課題となっている事項	特になし						
R2年度の目標	農地災害復旧に併せて水路復旧することにより生活環境の向上や浸水被害の軽減に努める。		R2年度の主な取り組み内容(予定含む)	菅沢町ほかの水路復旧工事の早期完成に取り組み。 仮置きされている災害土砂の適正処分に取り組み。	特に環境変化, 障害, 課題等解決のため, R2年度で取り組み改善策	特になし	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標			
活動指標 (3つまで設定可)	水路整備箇所	箇所	目標値		304	337	337	—	目標値	337		
			実績値		252	303			達成年度	R2年度		
			% 達成度		—	82.9	89.9					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	計画している箇所数すべての整備を目指すため。				
	本指標の設定理由	本事業の目的とする指標であるため										
	災害土砂撤去	率	目標値		—	—	—	100	—	目標値	100	
			実績値		—	—	—			達成年度	R2年度	
			% 達成度		—	—	—					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	上怒和に仮置きしている災害土砂の撤去・処分の終了を目指すため。				
	本指標の設定理由	本事業の目的とする指標であるため										
			目標値						目標値			
			実績値						達成年度			
		%	達成度									
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値			
			実績値						達成年度			
		%	達成度									
		指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
		本指標の設定理由										
				目標値						目標値		
				実績値						達成年度		
			%	達成度								
		指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
		本指標の設定理由										
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	水路改修箇所については約90%の整備が完了しており、R2年度での整備完了に向け計画に基づき、予定通りに整備が進んでいる。										
	成果指標											
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容												